

ひまわりの絆プロジェクトに伴う

『飯塚地区消防本部管内 **交通事故** **火災** 0計画』

1 プロジェクト概要

ひまわりの絆プロジェクトとは、交通事故で亡くなった4歳の男子「東陽大君」が大切に育てていたひまわりの種を京都府警が譲り受け、全国各地に大輪の花を咲かせ、「男の子が生きていた証と交通死亡事故根絶」を願うご遺族への支援とともに、国民に対して命の大切さや交通事故防止を呼び掛けている運動です。

昨年、飯塚警察署主催の「飯塚地区犯罪被害者に優しい街づくり住民大会」で飯塚消防署に対して3粒のひまわりの種が配布されました。飯塚消防署は、交通事故防止を願うとともに、火災予防運動の一環とし、その種を植えひまわりを咲かせることにより、飯塚地区消防本部交通事故防止計画と火災予防啓発活動を行っています。



昨年のひまわり

2 実施

昨年、育てた2輪のひまわりから取れた多くの種を、国道に面した飯塚消防署の国旗掲揚台下花壇と庁舎南側の2箇所に苗植えを行ない、職員及び通行する人に対して、交通事故防止と火の取扱注意を呼び掛けます。併せて、6月17日に実施する「パパは我が家のレスキュー隊」に参加する30組の家族にも火災予防を記載したパンフレットと一緒にひまわりの苗を配り、火災予防思想の普及活動を実施します。また、山田消防署及び桂川消防署でもひまわりを育て、飯塚地区消防本部全管内でひまわりを咲かせ、「飯塚地区消防本部管内交通事故及び火災0計画」を実施します。

